

令和4年度 第3回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和4年11月21日(月) 13:30 ~ 15:01
会議方法 Google Meetによるオンライン会議
出席者 (学外) 江崎, 中島, 林田, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 小嶋, 藪田, 原田の各委員
陪席者 田中監事, 足立監事, 山根副学長, 後藤副学長, 岡田副学長,
安延副学長, 岸本地域学部長, 中村医学部長, 坂口工学部長,
霜村農学部長

議事要旨の承認

前回(令和4年9月26日開催, 令和4年度第2回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 令和4年度第1次学内補正予算(案)

資料1に基づき, 補正予算案の概要及び執行計画案(実施事業概要)について説明があり, 審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 学生納付金収入の減少要因となっている休学者の増加推移について質問があり, 要因分析の上後日回答することとした。
- ◇ 研究成果使用許諾等に関する雑収入(137,003千円)の詳細について質問があり, 後日補足資料にて回答することとした。
- ◇ 光熱費高騰に対する今後の対応策について質問があり, 現時点では大学予算による補填にて対応したが, 大学単独での措置には限界があり, 政府動向を注視している旨回答があった。

報 告

1. 農学部創立百周年記念式典について

農学部長より, 令和4年11月12日に開催した農学部創立百周年記念式典の挙行報告及び出席・祝電への謝辞を述べた。

討 議

1. 鳥取大学におけるダイバーシティの取り組みについて

資料2に基づき, 本学におけるダイバーシティの取り組み状況について説明

があり、説明後、各委員との意見交換が行われた。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 障がいを持つ学生への対応状況について質問があり、平成26年より「学生支援センター」を設立し、学生へのサポートを行っている旨回答があった。取組例として、学生が大学に対し合理的配慮を希望する旨の申請を受け付ける機会を定期的に設けており、本学学生の申請数は他大学と比較して1.5～2倍程度となっている旨併せて説明がなされた。
- ◇ 様々な障がいを持つ学生の学びの機会確保に向けて、今後も最大限の配慮をお願いしたいとの発言があった。
- ◇ 女性活躍の分野に関しては、組織のトップの決断力が重要になるとの発言があった。
- ◇ 学生年代から意識づけを行っていけば世の中は変わると思うので、大学がダイバーシティ分野でイニシアティブをとっていくことは重要であるとの発言があった。
- ◇ 女子学生へのキャリア支援として実施している企業見学会への参加学生数について質問があり、1回につき20人程度の定員にて実施している旨回答があった。また見学会に参加した学生は、大学院への進学率が高くなっている旨併せて説明がなされた。

その他

資料3に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料4に基づき、令和4年度第4回を令和5年1月23日開催予定である旨説明があった。